【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【公表番号】特表2006-522325(P2006-522325A)
【公表日】平成18年9月28日(2006.9.28)
【年通号数】公開・登録公報2006-038
【出願番号】特願2006-506048(P2006-506048)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　33/15　(2006.01)
Ｃ４０Ｂ　20/08　(2006.01)
Ｃ４０Ｂ　30/04　(2006.01)
Ｃ４０Ｂ　60/12　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/50　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　1/42　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　33/15　Ｚ
Ｃ４０Ｂ　20/08
Ｃ４０Ｂ　30/04
Ｃ４０Ｂ　60/12
Ｇ０１Ｎ　33/50　Ｚ
Ｃ１２Ｑ　1/42

【手続補正書】
【提出日】平成19年3月28日(2007.3.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
化合物のレパートリー中において、所望の活性を有する１以上の化合物を識別する方法であって、
ａ）任意の１つのマイクロカプセルにおいて、レパートリーのサブセットのみが複数のコピーで示されるように、化合物をマイクロカプセル中にコンパートメント化するステップと；
ｂ）所望の活性を有する化合物を識別するステップと
を含む方法。
【請求項２】
ステップ（ａ）が、個々の化合物を含む個別のエマルジョンコンパートメントを形成するステップと、エマルジョンコンパートメントを混合して、エマルジョン化された化合物レパートリーを形成するステップであって、任意の１つのマイクロカプセルにおいて、レパートリーのサブセットが複数のコピーで示される、ステップとを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
ステップ（ａ）が、
ｃ）任意の１つのマイクロビーズ上において、レパートリーのサブセット１つのみが示されるように、化合物レパートリーをマイクロビーズ上に付着させるステップと；
ｄ）任意の１つのマイクロカプセルにおいて、レパートリーのサブセットが複数のコピ

ーで示されるように、マイクロビーズをマイクロカプセルにコンパートメント化するステップとを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項４】
所望の活性が、結合活性および標的の活性のモジュレーションからなる群より選択される、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
結合活性が、標的に対する結合である、請求項４に記載の方法。
【請求項６】
モジュレートされた活性が、結合活性である、請求項４に記載の方法。
【請求項７】
モジュレートされた活性が、触媒活性である、請求項４に記載の方法。
【請求項８】
化合物が標的と反応して反応生成物を生成する、請求項１に記載の方法。
【請求項９】
化合物が、切断不能なリンカーを介してマイクロビーズへ結合している、請求項３に記載の方法。
【請求項１０】
化合物が、切断可能なリンカーを介してマイクロビーズへ結合している、請求項３に記載の方法。
【請求項１１】
化合物が、光化学的に切断可能なリンカーを介してマイクロビーズへ結合している、請求項１０に記載の方法。
【請求項１２】
化合物が、切断可能なリンカーおよび切断不能なリンカーの組み合わせによってマイクロビーズへ結合している、請求項３に記載の方法。
【請求項１３】
標的が、化合物と一緒にマイクロカプセルにコンパートメント化される、請求項１に記載の方法。
【請求項１４】
所望の活性を有する化合物が、それに関連するマイクロビーズもしくはマイクロカプセルにおける、マイクロビーズもしくはマイクロカプセルの識別、分類または選択を可能とする変化を引き起こす、請求項１に記載の方法。
【請求項１５】
基質がマイクロカプセル内に存在し、マイクロカプセル内の化合物の所望の活性が、直接的または間接的に、基質の生成物への転換の調節をもたらす、請求項７に記載の方法。
【請求項１６】
基質が、標的の触媒作用によって生成物へ転換させられる、請求項１５に記載の方法。
【請求項１７】
基質および生成物が、相違する光学特性を有する、請求項１５に記載の方法。
【請求項１８】
基質および生成物が、相違する蛍光特性を有する、請求項１７に記載の方法。
【請求項１９】
基質がマイクロビーズへ結合しており、マイクロカプセル内の化合物の所望の活性が、直接的または間接的に、基質の生成物への転換の調節をもたらし、生成物がマイクロビーズの一部に残存し、その識別、および任意選択的にその単離を可能にする、請求項１５に記載の方法。
【請求項２０】
マイクロカプセル内の化合物の所望の活性が、直接的または間接的に、生成物の生成をもたらし、生成物が、その後マイクロビーズと複合体化し、その単離を可能にする、請求項７に記載の方法。

【請求項２１】
所望の活性を有する化合物が、マイクロカプセルの識別、分類または選択を可能にするマイクロカプセルの変化をもたらす、請求項１に記載の方法。
【請求項２２】
マイクロカプセル内の化合物の所望の活性が、マイクロカプセルの光学特性の変化をもたらす、請求項１に記載の方法。
【請求項２３】
マイクロカプセルの識別が、フローサイトメトリーによる、請求項２２に記載の方法。
【請求項２４】
化合物の非所望の活性が、所望の活性から生じる変化とは区別しえるマイクロビーズもしくはマイクロカプセルの変化をもたらす、請求項１に記載の方法。
【請求項２５】
１以上の化合物が、低分子量化合物である、請求項１に記載の方法。
【請求項２６】
ステップ（ａ）から（ｄ）の１つ以上を反復して繰り返すステップをさらに含む、請求項３に記載の方法。
【請求項２７】
マイクロカプセル化が、油中水型エマルジョンを形成するステップによって達成される、請求項１に記載の方法。
【請求項２８】
識別されたマイクロカプセルが、微小流体デバイスを用いて分類される、請求項１に記載の方法。
【請求項２９】
請求項１の方法によって単離された生成物。
【請求項３０】
化合物を調製する方法であって、
（ａ）任意の１つのマイクロカプセルにおいて、レパートリーのサブセットのみが複数のコピーで示されるように、化合物をマイクロカプセルにコンパートメント化するステップと；
（ｂ）所望の活性を有する化合物を識別するステップと、
（ｃ）所望の活性を有する化合物を識別および生成するステップと
を含む方法。
【請求項３１】
化合物を調製する方法であって、
（ａ）任意の１つのマイクロカプセルにおいて、レパートリーのサブセットのみが複数のコピーで示されるように、化合物をマイクロカプセルにコンパートメント化するステップと；
（ｂ）所望の活性を有する１以上の化合物を含有するマイクロカプセルを、それらの光学特性の変化を用いて識別、および任意選択的に分類するステップと；
（ｃ）所望の活性を有する化合物を識別および生成するステップと
を含む方法。
【請求項３２】
標的の活性をモジュレートさせることのできる１以上の化合物をスクリーニングする方法であって、
（ａ）任意の１つのマイクロカプセルにおいて、レパートリーのサブセットのみが複数のコピーで示されるように、化合物をマイクロカプセルにコンパートメント化するステップと；
（ｂ）所望の活性を有する１以上の化合物を含有するマイクロカプセルを、それらの光学特性の変化を用いて識別、および任意選択的に分類するステップと；
（ｃ）所望の活性を有する標的を１以上の化合物と接触させ、１以上の化合物による標

的の活性のモジュレーションを監視するステップと
を含む方法。
【請求項３３】
標的を調製する方法であって、
（ａ）標的に対する合成プロトコールを供するステップであって、少なくとも１つのステップが化合物によって促進される、ステップと；
（ｂ）このステップを促進する化合物の変異体を調製するステップと；
（ｃ）任意の１つのマイクロカプセルにおいて、レパートリーのサブセットのみが複数のコピーで示されるように、化合物をマイクロカプセルにコンパートメント化するステップと；
（ｄ）所望の活性を有する１以上の化合物を含有するマイクロカプセルを、それらの光学特性の変化を用いて識別、および任意選択的に分類するステップと；
（ｅ）合成における関連するステップを促進するために、（ｄ）において識別された化合物を用いて標的を調製するステップと
を含む方法。